

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月16日

団体名 特定非営利活動法人21世紀を創る会・みかわ

代表者 小原 睦

構成員 54人(※令和8年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

岡崎市を中心とする三河地域において、民、産、官、学の連携、協調活動の推進をもって保健、医療、福祉、社会教育、文化、芸術、スポーツ、情報、市民活動、観光、交通、経済の分野におけるまちづくりを推進し、健全で豊かな地域社会の実現とその活性化に寄与し、社会全体の利益に貢献することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
8月5日～	オンライン		不明	市内大学の先生方による特別講義や研究成果を紹介する「アカデミックトーク」を動画配信し、専門的な知見を地域に届け、学術と市民をつなぐ機会を創出した。
8月27日・28日	岡崎市南部市民センター分館 集会室	岡崎市内高校生	27日40名 28日42名	岡崎市内の高校生を対象に、災害発生時におけるボランティア活動の基礎知識や、実践的なワークショップや意見交換を通じて、若い世代が地域防災の担い手として主体的に関わる意識を育む機会となった。
12月13日	岡崎女子大学・岡崎女子短期大学		不明	「学生フォーラム」開催。市内7大学の学生による研究発表、活動報告(口頭発表4組、展示発表16組)大学間の交流のサポートと、地域での活動・成果について周知した。
3月3日	岡崎女子大学・岡崎女子短期大学		不明	「地域活性化フォーラム」開催。6名の先生が自身の専門性を生かし、それぞれ発表を行った。産学官民協調活動のきっかけづくりになった。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

民間・企業・行政・大学など、多様な主体との連携や協調のもと、岡崎市を中心としたまちづくりの推進に寄与した。これにより、市民社会全体に対し、地域課題への関心や主体的な関わりを促す機会を提供するとともに、世代や立場を越えた対話と協働の基盤づくりに貢献することができたと思われる。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

民・産・官・学の連携によるまちづくり活動を通じて、広く市民を対象とした参加や学びの機会を創出し、地域社会への波及が期待されるため。